

ドイツ語圏における日本研究 — 歴史、組織、内容

2023年12月19日（火） 18:00~19:30

ZOOM開催 ID: 880 9972 0573 パスコード : 231219

参加費・事前申込不要

講演要旨

学術機関における組織的な日本研究は、ドイツ語圏では約100年の歴史があるが、この間、人文科学の分野、特に文学、歴史、宗教の分野を中心に研究が行われてきた。しかし、1970年代に日本が経済的に急成長するにともない、それまでの人文科学に加え、政治学や法学の分野においても研究されるようになった。他方、自然科学の分野における日本研究は、人文科学とは別の組織的な発展を遂げた。講演ではこれらの日本研究の流れを俯瞰し、過去から現在にわたって紹介する。

講師プロフィール：Heinrich Menkhaus氏

明治大学法学部教授

ドイツ・ミュンスター大学で法学博士号を取得。1994年7月から1995年8月までヨーロッパ日本研究協会（EAJS）事務総長、2002年2月から2007年7月までドイツ・マールブルク大学日本研究センター所長、2005年から2012年までドイツ語圏日本研究学会会長を務め。研究テーマは企業法、家族法、法と宗教、日独法律交流史。研究業績には「ドイツ語圏における日本法への学問的取り組み」（2006）、「ドイツの大学における日本研究の構造的諸問題」（2009）がある。

主催:関西大学大学院文学研究科副専攻「EU-日本学」

お問い合わせ Tel : 06-6368-1111(+5459) E-mail : k311388@kansai-u.ac.jp